

2023年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年4月14日

上場会社名 株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス
コード番号 2927 URL <https://www.ams-life.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 浅山 雄彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役会長室長 (氏名) 南方 茂穂

TEL 054-281-5238

四半期報告書提出予定日 2023年4月14日

配当支払開始予定日

2023年5月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第2四半期の連結業績(2022年9月1日～2023年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第2四半期	12,444	11.1	678	49.7	708	10.2	414	34.7
2022年8月期第2四半期	11,202		453		642		307	

(注) 包括利益 2023年8月期第2四半期 375百万円 (26.2%) 2022年8月期第2四半期 297百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第2四半期	29.46	29.45
2022年8月期第2四半期	21.84	21.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第2四半期	38,953	12,644	32.3
2022年8月期	37,348	12,445	33.2

(参考) 自己資本 2023年8月期第2四半期 12,600百万円 2022年8月期 12,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年8月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期		15.00		15.00	30.00
2023年8月期(予想)		12.50		15.00	27.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年8月期の連結業績予想(2022年9月1日～2023年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,741	7.5	1,481	46.0	1,435	6.9	687	6.6	48.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年8月期2Q	14,387,699 株	2022年8月期	14,387,699 株
期末自己株式数	2023年8月期2Q	316,094 株	2022年8月期	352,594 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年8月期2Q	14,054,837 株	2022年8月期2Q	14,072,114 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信の添付資料4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、新業態への進出による経営の多角化と自社グループ内に様々な業態を持つことにより、自社グループ内で全てを完結する複合企業体を目指しております。本年4月に開校した日本語学校に合わせ、旅行業、観光事業を1月よりスタートさせ、また、ベトナム国の給食事業企業を1月に連結子会社化いたしました。

業績につきましては、好調を維持した医薬品事業が増収増益となったことに加え、コロナウイルス感染症の影響から立ち直りをみせている百貨店事業や飲食事業が増収となり、連結売上高は12,444百万円（前年同期比111.1%）となりました。利益面につきましては、増収効果により売上総利益が増加、営業利益は678百万円（前年同期比149.7%）となりました。一方、経常利益については、営業利益増益影響により708百万円（前年同期比110.2%）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は414百万円（前年同期比134.7%）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(ヘルスケア事業)

・OEM部門

長引くコロナ禍で消費者の健康意識の高まりが定着した感があり、通販業の顧客、店舗販売業の顧客ともに、受注が安定しております。その中で機能性を表示できるダイエット関連製品の受注が堅調に推移いたしました。また、長引く行動制限により弱った足腰をケアする関節ケア製品の受注が好調に推移いたしました。

生産面においては、昨年10月に千葉工場の改修工事が完了いたしました。イスラム圏での売上拡大を図るため、同工場のハラル認証取得に向け取り組んでまいります。

・自社製品販売部門

店舗販売は、不採算店の閉店による減収があったものの、行動制限緩和に伴う来客数の増加や催事・相談会等の実施数増加による増収など回復基調で推移いたしました。海外販売は、美容商材のほか、アンチエイジング製品が流行となり売上に寄与いたしました。通信販売は、販売促進活動を強化している機能性表示食品が堅調に推移いたしました。機能性表示食品のラインアップ拡充など新商品開発に注力しております。

ヘルスケア事業の業績は、売上高7,326百万円（前年同期比96.5%）、営業利益940百万円（前年同期比94.7%）となりました。

(医薬品事業)

医薬品市場は、大別して医師の処方箋に基づき病院・診療所、調剤薬局で購入する医療用医薬品市場と、医師の処方箋が要らず、ドラッグストアで購入する一般用医薬品市場に分けられます。

医薬品事業の好調を牽引している一般用医薬品のOEM受注が増加したほか、医療用医薬品については、重点販売製品として位置付けている自社製造、医療用ジェネリック医薬品『ピムロ顆粒』（下剤）、生活習慣改善薬のジェネリック医薬品『シルデナフィル錠』『フィナステリド錠』『タダラフィル錠』が順調に売上を伸ばした影響が加わり、利益面において安定的に黒字が出せる体制となりました。

以上の結果、医薬品事業の業績は、売上高が1,064百万円（前年同期比122.1%）、営業利益103百万円（前年同期比122.2%）となりました。

(百貨店事業)

昨年9・10月に開催した「創業150年記念感謝還元祭」が売上高増に寄与いたしました。創業150周年記念特別企画として、10月に「山本譲二プレミアムランチ&ディナーショー」を鎌倉プリンスホテルで開催し、多くのお客様にご好評をいただきました。さらに、本年2月末日でのニトリ藤沢店撤退、並びに2023年初夏オープン(予定)の国内最大手、大型家電量販店であるヤマダデンキ開店を見込み、1・2月に藤沢店全館にて開催した「大幅改装のための改装売りつくしセール」も売上増に寄与いたしました。

また、防寒商材をはじめとした衣料品販売や金地金買取の好調、グループのシナジー効果を活用した販売促進企画(健康食品の通販広告を神奈川新聞に掲載する等)、各取引先との取引条件改定交渉等、様々な取組みにより収益構造が改善しております。

以上の結果、百貨店事業の業績は、売上高が2,816百万円(前年同期比123.9%)、営業利益12百万円(前年同期と比べ134百万円の営業利益の改善)となりました。

(飲食事業)

各店舗において個人客を中心に来客数が増加傾向にあり、特に12月は大幅に客足が増え売上増に寄与いたしました。その中でも個人客需要を対象とした店舗である「十千花前(じっせんかぜん)静岡店」「魚弥長久(うおやながひさ)」及び、ランチ需要強化のため大幅にメニューチェンジした「草薙茄兵衛」が比較的好調に推移いたしました。また、ケータリングの「なすび庵」も好調に推移し売上高増に寄与いたしました。

飲食事業の業績は決算期変更の影響も加わり、売上高が697百万円(前年同期比158.2%)、営業損失121百万円(前年同期に比べ69百万円の営業利益の改善)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,232百万円増加し、18,358百万円となりました。この増加要因は主として、現金及び預金が527百万円、流動資産のその他が233百万円、受取手形及び売掛金が175百万円、商品及び製品が130百万円、仕掛品が91百万円、原材料及び貯蔵品が74百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ371百万円増加し、20,594百万円となりました。この増加要因は主として、有形固定資産が395百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,514百万円増加し、14,733百万円となりました。この増加要因は主として、短期借入金が1,269百万円、未払法人税等が130百万円、支払手形及び買掛金が49百万円、流動負債のその他が35百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ109百万円減少し、11,575百万円となりました。この減少要因は主として、長期借入金が105百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ199百万円増加し、12,644百万円となりました。この増加要因は主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が203百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年3月14日の「連結子会社(株)さいか屋の特別損失の計上並びに第2四半期及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,377,778	10,905,778
受取手形及び売掛金	2,578,619	2,753,982
商品及び製品	1,529,950	1,660,623
仕掛品	834,751	926,582
原材料及び貯蔵品	1,363,303	1,438,013
その他	456,670	689,965
貸倒引当金	△15,816	△16,860
流動資産合計	17,125,257	18,358,085
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,251,945	5,532,056
土地	9,604,660	9,716,980
その他（純額）	1,066,211	1,069,668
有形固定資産合計	15,922,817	16,318,705
無形固定資産		
のれん	1,338,673	1,369,997
その他	118,076	109,600
無形固定資産合計	1,456,749	1,479,597
投資その他の資産		
その他	2,901,625	2,854,799
貸倒引当金	△57,789	△58,172
投資その他の資産合計	2,843,836	2,796,626
固定資産合計	20,223,403	20,594,930
資産合計	37,348,660	38,953,015
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,414,316	3,463,680
短期借入金	6,998,833	8,267,909
未払法人税等	175,292	305,602
賞与引当金	152,512	172,753
契約負債	1,331,472	1,340,870
その他	1,146,322	1,182,187
流動負債合計	13,218,748	14,733,003
固定負債		
長期借入金	10,136,122	10,031,096
役員退職慰労引当金	230,435	238,210
退職給付に係る負債	770,959	781,126
その他	547,245	524,619
固定負債合計	11,684,762	11,575,052
負債合計	24,903,511	26,308,055

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,131,839	2,131,839
資本剰余金	2,640,231	2,632,282
利益剰余金	7,880,483	8,084,011
自己株式	△305,391	△273,777
株主資本合計	12,347,163	12,574,355
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△808	△38,107
為替換算調整勘定	25,907	23,827
退職給付に係る調整累計額	42,259	39,961
その他の包括利益累計額合計	67,358	25,680
新株予約権	24,568	—
非支配株主持分	6,058	44,922
純資産合計	12,445,149	12,644,959
負債純資産合計	37,348,660	38,953,015

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年9月1日 至2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年9月1日 至2023年2月28日)
売上高	11,202,916	12,444,800
売上原価	6,947,986	7,773,291
売上総利益	4,254,930	4,671,508
販売費及び一般管理費	3,801,826	3,993,212
営業利益	453,103	678,295
営業外収益		
受取利息	1,848	2,022
受取配当金	5,365	5,892
投資有価証券売却益	2,768	17,478
助成金収入	195,795	15,262
その他	25,736	19,909
営業外収益合計	231,514	60,565
営業外費用		
支払利息	30,616	27,298
投資有価証券売却損	5,113	46
その他	6,127	3,275
営業外費用合計	41,857	30,620
経常利益	642,760	708,241
特別利益		
固定資産売却益	334	207
債務免除益	—	46,838
新株予約権戻入益	—	332
その他	—	74
特別利益合計	334	47,452
特別損失		
固定資産売却損	—	7
固定資産除却損	67,921	17,659
役員退職慰労金	8,346	—
店舗閉鎖損失	—	28,277
事業構造改善費用	—	93,561
その他	6,415	—
特別損失合計	82,682	139,506
税金等調整前四半期純利益	560,412	616,187
法人税、住民税及び事業税	237,720	261,989
法人税等調整額	15,896	△62,492
法人税等合計	253,617	199,496
四半期純利益	306,794	416,690
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△527	2,635
親会社株主に帰属する四半期純利益	307,322	414,054

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	306,794	416,690
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,905	△37,299
為替換算調整勘定	7,728	△1,451
退職給付に係る調整額	△933	△2,297
その他の包括利益合計	△9,110	△41,048
四半期包括利益	297,684	375,642
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	298,212	372,376
非支配株主に係る四半期包括利益	△527	3,265

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	560,412	616,187
減価償却費	428,903	397,846
のれん償却額	76,495	78,323
株式報酬費用	30,045	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,088	20,240
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	15,808	7,775
受取利息及び受取配当金	△7,214	△7,914
支払利息	30,616	27,298
固定資産売却損益(△は益)	△334	△199
固定資産除却損	67,921	17,659
助成金収入	△195,795	△15,262
債務免除益	—	△46,838
新株予約権戻入益	—	△332
事業構造改善費用	—	93,561
売上債権の増減額(△は増加)	△365,258	△118,118
棚卸資産の増減額(△は増加)	383,845	△295,793
仕入債務の増減額(△は減少)	△193,729	△12,494
未払消費税等の増減額(△は減少)	202,070	△24,827
その他	△240,709	△290,496
小計	778,988	446,612
利息及び配当金の受取額	7,179	7,902
利息の支払額	△31,836	△28,271
助成金の受取額	172,420	35,101
法人税等の支払額	△613,166	△63,988
営業活動によるキャッシュ・フロー	313,585	397,356
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△546,320	△725,141
有形及び無形固定資産の売却による収入	334	269
投資有価証券の取得による支出	△155,376	△262,357
投資有価証券の売却による収入	134,798	281,773
敷金及び保証金の差入による支出	△906,684	△8,682
敷金及び保証金の回収による収入	279,756	44,731
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△114,146
その他	△8,249	△7,578
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,201,740	△791,130
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,000,000	1,178,242
長期借入れによる収入	250,000	72,510
長期借入金の返済による支出	△949,998	△91,028
自己株式の取得による支出	△288,891	—
配当金の支払額	△212,300	△209,886
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△601
その他	△25,067	△25,579
財務活動によるキャッシュ・フロー	773,742	923,657
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,653	△1,883
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△107,759	527,999
現金及び現金同等物の期首残高	8,667,136	10,257,778
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,559,377	10,785,778

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	ヘルスケア 事業	医薬品事業	百貨店事業	飲食事業	その他事業	
売上高						
外部顧客への売上高	7,593,503	871,223	2,274,093	441,150	22,945	11,202,916
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,593,503	871,223	2,274,093	441,150	22,945	11,202,916
セグメント利益又は損失(△)	992,441	84,677	△121,536	△190,407	△9,935	755,239

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	755,239
全社費用(注)	△302,136
四半期連結損益計算書の営業利益	453,103

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	ヘルスケア 事業	医薬品事業	百貨店事業	飲食事業	その他事業	
売上高						
外部顧客への売上高	7,326,508	1,064,101	2,816,517	697,983	539,688	12,444,800
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,326,508	1,064,101	2,816,517	697,983	539,688	12,444,800
セグメント利益又は損失(△)	940,267	103,468	12,788	△121,317	△1,997	933,209

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	933,209
全社費用(注)	△254,914
四半期連結損益計算書の営業利益	678,295

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産の減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

5SPRO Joint Stock Companyの株式を取得し、同社を連結の範囲に含めたことに伴い、「その他事業」セグメントにおいてのれんを認識しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は109,647千円であります。